2019年度・第22回 出版流通学院 書店研究会セミナー 講演概要

第2講

働き方改革時代に求められる トヨタの改善術と行動力

講演概要編集責任:出版流通学院 書店研究会 事務局

講演日:2019年7月24日

講師紹介



株式会社プラスドライブ 代表取締役 原マサヒコ氏

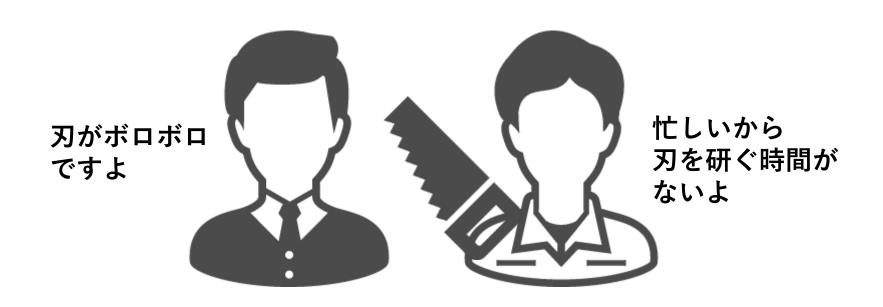
1996年、神奈川トヨタ自動車株式会社に現 場メカニックとして入社。現場にて「動 線 の考え方を叩きこまれると、5000台も の自動車修理に携わりながらも技術力を競 う「技能オリンピック」で最年少優勝に輝 く。さらにカイゼンのアイデアを競う「ア イデアツールコンテスト | でも2年連続全国 大会出場を果たすなど活躍。活躍の場をIT 業界に変えても動線を意識し続け、PCサ ポートを担当したデルコンピュータでは「5 年連続顧客満足度NO.1 に貢献。 2015年にWEBマーケティング会社を設立し、 現在は数多くのクライアント先に対して付 加価値を提供し続けている。

講演目次

- 1. 木こりのジレンマに陥るな
- 2. まずは「2S」を見直そう
- 3. 「時間の質」を見直そう
- 4. 見える化、仕組み化をしよう
- 5. 「動き」ではなく「働き」をしよう
- 6. 当たり前を疑おう
- 7. 伸びるスタッフの育て方
- 8. コミュニケーションは「あいしてるの法則」

Point1 木こりのジレンマに陥るな

まずは立ち止まり、錆びたのこぎりを 磨かなくてはいけない



Point2 まずは「2S」を見直そう

5Sのうち、 「整理|「整頓|が最も重要

整理 整頓
必要なものとそうでない まのを区別し、捨てること

清潔清掃

躾

整理して残ったものをわかり やすく表示させていくこと

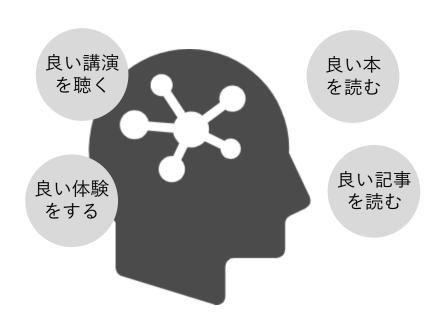
モノを探す時間を減らし、時間を創出

Point3 「時間の質」を見直そう

頑張ることは汗をかくことではない 行動の質を高め、結果を出すこと



自らのコンディションを整える



インプットの質を高める

Point4 見える化、仕組み化をしよう

全員の仕事の量がわかると、手伝える 仕事の量が見えると、終わりがわかる

多能工を育てる



一人一人に多くの能力を持ってもらう 視野が広がり、会社というモノを自分事化できる 評価制度が必要

作業を標準化する



手順書をつくって、行動品質を一定化させる 日々アップデートしていく 現場のスタッフの声を反映する

Point5 「動き」ではなく「働き」をしよう

トヨタでよく言われた言葉 「動いていないで、働いてくれ」

動き

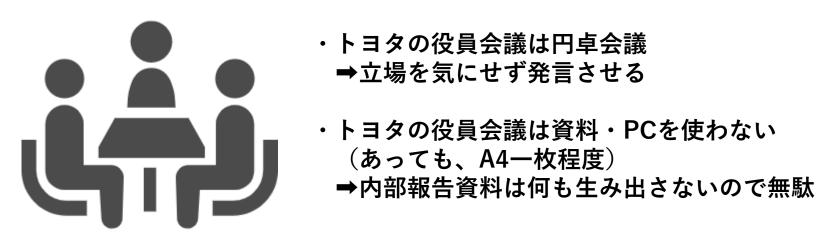
言われたことをやること



にんべんをつけて (頭を働かせて付加価値をつけて) より良くすること

Point6 当たり前を疑おう

常識を否定し、前例を気にしない



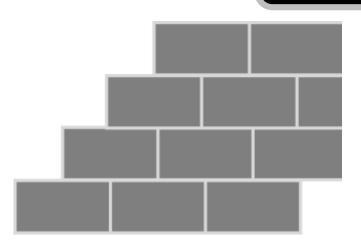
- ・トヨタの役員会議は円卓会議
- ➡立場を気にせず発言させる

逆プロトタイプ=ためしに止めてみる

Point7 伸びるスタッフの育て方

トヨタの口癖 「何のためにやるんだっけ」

童話「三人のレンガ積み職人」



旅人「ここで一体何をしているのですか」

- 男①「レンガを積んでいるんだ」
- 男②「大きな壁をつくっているんだ」
- 男③「大聖堂をつくっているんだ」

上司は、都度目的やゴールを明示する

Point7 コミュニケーションは「あいしてるの法則」

- あ Attention 注視する。部下は上司に見てもらう事をモチベーションにしている。
- い Interest 興味を持つ。「どうしたの?」「いつもと雰囲気が違うね」「体調悪いの?」
- し Synpathy 共感する。「気持ちわかるよ」「子育で大変だよね」
- て **T Trust** 信じ抜く。部下・スタッフを信じ、「君なら大丈夫だろ」「任せるよ」
- る Respect 敬意を払う。「君たちは大切な部下だ」「それは俺にはない能力だなあ」

トップダウンは「やらされ感」 スタッフを信じて任せる 皆も期待に応えて行動してくれるはず

講師著書 今回の講演の理解に役立ちます。



原 マサヒコ Facebookページ





haramasahiko.com/









2016年9月5日発売 「トヨタで学んだ自分を変える すごい時短術」(かんき出版)



2017年12月13日発売 「Action! トヨタの現場の やりきるカ」(プレジデント社)



2018年3月16日発売 「トヨタ流5S最強のルール」 (大和書房)



2019年6月1日発売 「トヨタで学んだ 動線思考」 (祥伝社)